

つとおおつかちょう
津門大塚町遺跡の発掘調査成果と現地説明会について

兵庫県教育委員会では、県立西宮総合医療センター（仮称）整備事業に伴う津門大塚町遺跡の発掘調査を(公財)兵庫県まちづくり技術センターに委託して進めています。調査の結果、古墳時代の埋没古墳群など多くの遺構が見つかりました。については、これら調査成果について一般を対象とした現地説明会を開催します。

1 調査成果の概要

別紙概要のとおり

2 現地説明会

(1) 日 時 令和4年11月13日(日) 10:00～12:00、13:00～15:00

(2) 場 所 津門大塚町遺跡発掘調査現場（西宮市津門大塚町11）

※新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクの着用をお願いします。
密を避けるため、上記時間内に複数回に分けて説明会を実施します。
参加の場合、できるだけ公共交通機関を利用してください。

3 問い合わせ先

【現地説明会に関する問い合わせ先】

津門大塚町遺跡発掘調査現場事務所

担当 園原、池田

TEL 0798-22-8588（平日の12:10～13:00、17:00～18:00）

【上記以外の内容に関する問い合わせ先】

・ (公財) 兵庫県まちづくり技術センター

埋蔵文化財調査部 調査第2課長 小川

TEL 079-437-5561（平日 9:00～17:30）

・ 兵庫県立考古博物館 埋蔵文化財課長 鐵（くろがね）

TEL 079-437-5595（平日 9:00～17:30）

津門大塚町遺跡発掘調査成果の概要

1 発掘調査の概要

遺跡名	津門大塚町遺跡（つとおおつかちょういせき）
遺跡の種別	古墳・集落遺跡
遺跡の時代	古墳時代
所在地	西宮市津門大塚町 11
調査面積	約 6,500 m ²
調査期間	令和 4 年 6 月 28 日～令和 5 年 3 月 3 日（予定）
調査原因	県立西宮総合医療センター（仮称）整備事業
調査主体	兵庫県教育委員会
調査機関	（公財）兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部

2 調査成果の概要

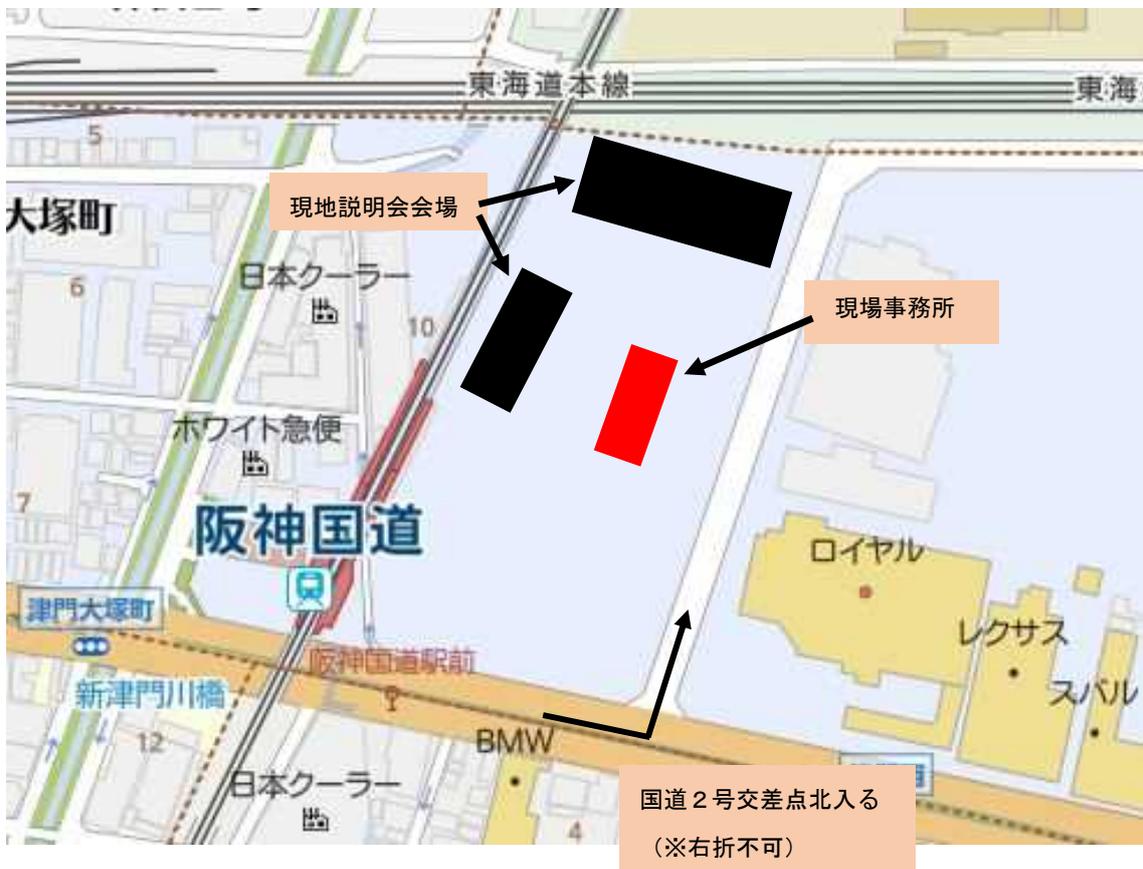
津門大塚町遺跡は、津門川左岸の沖積地に立地する遺跡です。当調査は、工事予定地を 3 つの調査区に分けて発掘調査を行っています。今回はそのうち北側の 2 区と 3 区の調査成果について発表します。（別添平面図参照）

- (1) 発掘調査の結果、埋没古墳（地中に埋もれて未確認だった古墳）を発見し、多くの埴輪や須恵器、牛や馬の歯が出土しています。埋没古墳は西宮市内では初の調査例です。
- (2) 埋没古墳は 8 基（円墳 2 基、方墳 6 基）あり、築造時期は古墳時代前期と後期の 2 時期あると考えられます。なかでも 2 区で見つかった円墳（8 号墳）は全長 21m、周濠を含めた直径が約 30m あり、祭祀場所である「造り出し」が設けられています。
- (3) 後世の掘削によって墳丘や埋葬施設は失われていますが、古墳の周濠が残存しており、そこからは、埴輪（円筒埴輪、石見型埴輪、人物埴輪、動物埴輪）や須恵器が多量に出土しています。また 5 号墳の周濠からは牛や馬の歯が出土しています。
- (4) 古墳群の東側では、古墳時代後期から古代の時期と考えられる掘立柱建物 3 棟が見つかりました。

3 まとめ

今回見つかった古墳は、円墳 2 基と方墳 6 基で構成された古墳群であり、埋没古墳としては西宮市で初の事例です。これらの古墳からは多量の埴輪や須恵器が出土しており、なかでも 8 号墳は規模や埴輪の出土量から考えて、この地域の首長クラスの人物の墓である可能性が考えられます。これまで発見されていなかった西宮市域における古墳群の様相が明らかとなり、当時の阪神間の社会情勢や地域社会のあり方を考える上で貴重な成果となりました。

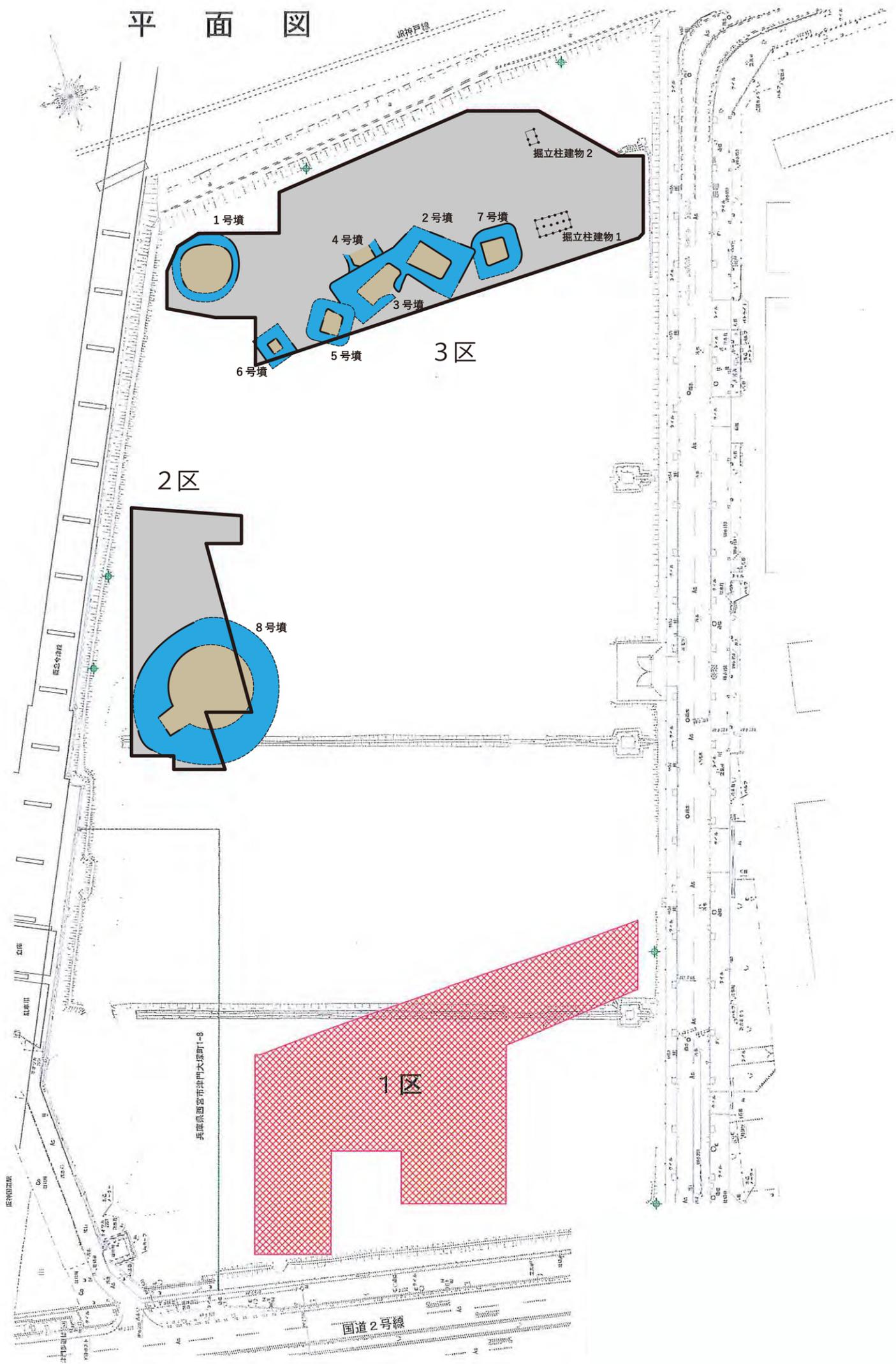
津門大塚町遺跡 現地説明会会場



阪急電車 今津線 阪神国道駅 から徒歩5分

- ・ 阪急神戸三宮駅から西宮北口駅乗り換え約30分
- ・ 阪急大阪梅田駅から西宮北口駅乗り換え約30分

平面图





① 3区 古墳群遠景（東から）



② 3区 3号墳周濠出土の埴輪（西から）



③ 3区 5号墳周濠出土の牛歯（東から）



④ 3区 5号墳周濠出土の馬歯（北から）



⑤ 2区 8号墳全景 (西から)



⑥ 2区 8号墳周濠出土の須恵器 (北から)



⑦ 2区 8号墳周濠出土の埴輪 (北から)



⑧ 2区 8号墳周濠出土の埴輪2 (北から)